

みぶ

2011
9
No.628

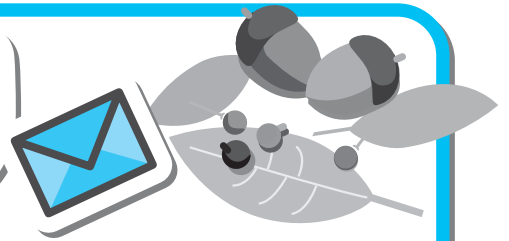
希望の
あかり

主な内容

- 国保だより……………2~3
- 高齢者のための総合相談窓口……4



国保だより



『国民健康保険被保険者証』の更新は10月1日です

カード型の被保険者証を1人に1枚交付します。

被保険者証の見本(表面)

国民健康保険 有効期限 平成24年 9月30日
被保険者証

記号 001 番号 123456
コクホ タロウ
氏名 国保 太郎

生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 性別 男
資格取得(該当)年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日

交付年月日 平成23年10月 1日
世帯主氏名 国保 太郎
住所 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

保険者番号 090654
保険者名 〇〇〇 壬生町 保険者印

一部負担金の割合 裏面参照

被保険者証の見本(裏面)

- ※一部負担金(診療を受けるときに支払う金額)の割合
- 下記以外…保険診療の費用(入院時の食事に要する費用を除く)の3割
 - 6歳の誕生日以後の最初の3月31日(誕生日が4月1日である場合はその前日の3月31日)以前の場合…2割
 - 70歳の誕生日の属する月の翌月(誕生日が月の初日である場合はその月)以後の場合…高齢受給者証に示す割合

※以下の欄に記入することにより、臓器提供に関する意思を表示することができます。
記入する場合は、1から3までのいずれかの番号を○で囲んでください。

1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。
 2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
 3. 私は、臓器を提供しません。
- <1又は2を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。>
【心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球】

(署名)

(署名年月日)

- 臓器提供の意思を記入することは任意ですので、必ずしも意思表示欄に記入する必要はありません。
- 詳細につきましては「社団法人日本臓器移植ネットワーク」のホームページをご覧ください。

国民健康保険被保険者証は、毎年10月1日に更新されます。

本年は9月22日頃の発送を予定しております。到着までに数日を要すると思われませんが、9月30日になっても届かない場合は、保険環境課国保医療係（☎81-1836）にお問い合わせください。

現在お持ちの被保険者証は、9月30日で期限切れとなりますので、ご注意ください。

なお、10月1日以降になりましたら、町保険環境課か町民生活課または稲葉・南犬飼出張所へ返還して下さるようお願いいたします。

医療機関における適正受診にご協力を!!

現在、休日や夜間に、軽症の患者さんの救急医療への受診が増加し、緊急性の高い重症の患者さんの治療に支障をきたしており、病院勤務医の負担が過重となる原因のひとつにもなっています。

必要な方が安心して医療が受けられるように、医療機関や薬局を受診する際には、以下のことに留意しましょう。

- 休日や夜間の救急医療機関は、緊急性の高い患者さんを受け入れるためのものです。休日や夜間に受診しようとする際には、平日の時間内に受診することができないか、もう一度考えてみましょう。
- 夜間・休日にお子さんの急な病気で心配になったら、まず、小児救急電話相談（#8000）の利用を考えましょう。看護師等からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方などのアドバイスが受けられます。
※緊急・重症の場合は迷わず119番をご利用ください。
- かかりつけの医師を持ち、気になることがあったら、まずは相談しましょう。
- 同じ病気で複数の医療機関を受診することは、控えましょう。医療費を増やしてしまうだけでなく、重複する検査や投薬によりかえって体に悪影響を与えてしまうなどの心配もあります。



- 薬が余っているときは、医師や薬剤師に相談しましょう。
(薬のもらいすぎに注意しましょう)
- 薬は飲み合わせによっては、副作用を生じることがあります。お薬手帳の活用などにより、すでに処方されている薬を医師や薬剤師に伝え、飲み合わせには注意しましょう。
- 後発医薬品（ジェネリック医薬品）は、先発医薬品（最初に作られた薬：新薬）と同等の効能効果を持つ医薬品であり、費用が先発医薬品よりも安くすみます。
「ジェネリック医薬品希望カード」を医療機関や薬局に提示することなどにより、後発医薬品の利用について相談しましょう。

高齢者のための総合相談窓口

壬生町
ち いま ほん かつ し えん
地域包括支援センター
高齢者のための **相談窓口**

介護予防を推進します
※介護予防や介護保険の相談
※要介護1・2の方の対応
※介護予防の取り組み など

高齢者の権利を守ります
※虐待に関する相談や虐待 通報
※養育施設施設等に関する相談
※認知症などにより判断能力が低下している
方の支援 など

様々な相談に応じます
※高齢者の生活全般に関する相談
※福祉や保健・医療に関する相談
※経済的な困難に関する相談 など

適切なサービスを提供できるように支援します
※地域のケアマネジャーへの支援や派遣 など

※中学校区ごとに地域別があります。

壬生北地区
地域包括支援センター
〔南大前中学校区〕
所在地／壬生町大学北小科812番地
☎0282 (86) 3579

壬生南地区
地域包括支援センター
〔壬生中学校区〕
所在地／壬生町大学壬生南2342番地
☎0282 (82) 2119

■地域包括支援センター■

地域包括支援センターは、高齢者の方々が何か相談ごとが発生した場合の、総合相談窓口です。壬生町には地域包括支援センターが2カ所設置されています。内容によっては、地域包括支援センターの職員がご自宅を訪問し、相談に応じています。

◎問合せ先 町民生部健康福祉課介護保険係 ☎81-1876

壬生町地域公共交通会議 ～先進地に学ぶ～

本町の新たな公共交通システム（デマンド交通など）導入に向けて話し合いを始めた壬生町地域公共交通会議では、すでにデマンド交通を導入し、運行している高根沢町を視察してまいりました。

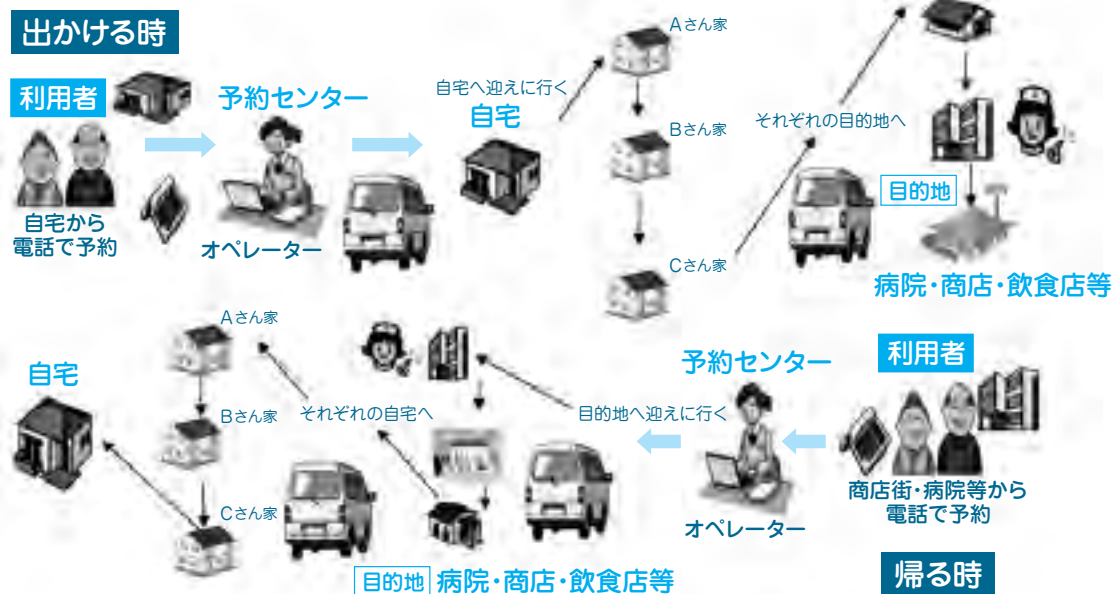


小菅町長・永井会長をはじめとする本会議の委員の方々は、高根沢町の担当者から説明を受けたあと、取組みに対する疑問点などを質問し、担当者とやりとりすることで、今後の本町で検討すべき課題やイメージが出来てきたようです。

今後は、町民アンケート調査やヒアリング調査を行い、町内の公共交通に対する町民の利用状況や意向を整理・分析し、本町の生活環境に適した地域公共交通計画とするため、検討をおこなってまいります。

高根沢町のデマンド交通システム(通称：たんたん号)の概要

- 利用者の希望する場所まで迎えに行き、希望する場所まで送り届けるシステムです。
- 家まで迎えに行くため、登録が必要です。
- タクシーとは違い、何軒かの家や場所を周り、目的地に向かうため、『何時までに!○○へ行きたい』、『何時に向かえに来て欲しい!』などの要望には、応えにくいシステムです。



◎問合せ先 壬生町地域公共交通会議事務局（壬生町総務部企画財政課） ☎81-1813



左側 児玉牧子選手 右側 飯村友仁選手

ねんりんピックに本町から2名の選手が出場!!

ねんりんピックとは、厚生労働省、県、(財)長寿社会開発センターが主催する高齢者のためのスポーツ等の交流大会で、昭和63年から毎年、開催地をかえて行われています。本年は、熊本県でねんりんピック2011熊本（第24回全国健康福祉祭くまもと大会）が10月15日から18日まで開催されます。

本町からは、マラソン交流大会に児玉牧子選手（壬生丁）、将棋交流大会に飯村友仁選手（壬生丁）が出場します。2選手のご活躍に期待したいと思います。

なお、平成26年度は栃木県において開催されます。

国の仕事のことなどで困ったときは、行政相談委員にご相談ください

秋の行政相談週間 10月17日～23日

行政に対する苦情などをお聞きします

総務省では、全国に行政相談のための窓口を設置し、皆さんからの行政に対する苦情や意見・要望を受け付け、公正で中立な立場から必要なあっせんを行うなどして、その解決を促進するとともに、行政運営の改善などを図っています。

行政相談週間は、毎年5月と10月の2回行われており、今年の「秋の行政相談週間」は、10月17日～23日まで実施されます。

行政相談の内容は？

役所の仕事（国の仕事、独立行政法人、特殊法人等の仕事、都道府県・市区町村の仕事で、法定受託事務に該当するもの・国の委任又は補助を受けて行っている仕事）についてご相談ください。

年金、医療保険、老人保健・福祉、交通安全、消費者保護など、分野は問いません。

相談はどこに？

行政相談の窓口は、総務大臣から委嘱を受けた行政相談委員です。本町でも下記のとおり特設行政相談所を開設します。

また、行政相談委員は、月1回定例的に相談をお受けするほか、電話でも相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。

相談は無料で、秘密は固く守られます。

特設行政相談

日時 10月20日（木）
午後1時30分～4時
場所 町保健福祉センター

相談担当者
相 田 喜 久 夫 行政相談委員
☎82-0603
く 川 元 一 行政相談委員
☎86-3869

◎問合せ先 町総務部企画財政課情報広報係 ☎81-1814

開かれた町政を目指して

～情報公開制度利用状況～

平成22年度の情報公開制度の利用状況についてお知らせします。

★情報公開制度とは、町民の皆さんの町政に対する理解・信頼を深め、「より開かれた町政」の実現のため、町の持っている情報を公開する制度です。

平成22年度の公開請求は右表のとおりでした。

「情報公開制度」に関するお問い合わせは町総務部総務課文書法規係 ☎81-1807

No.	項 目	件 数	
1	請 求 件 数	4件	
2	実施機関別内訳	町 長	1件
		教 育 委 員 会	0件
		議 会	2件
		農 業 委 員 会	0件
3	決定内容別内訳	選 挙 管 理 委 員 会	1件
		公 開	4件
		部 分 公 開	0件
		非 公 開	0件
4	不 服 申 立	不 存 在	0件
			0件

平成22年度壬生町個人情報保護条例の運用状況について

平成22年度の個人情報保護条例の運用状況をお知らせします。

平成22年度末現在の取扱事務登録件数は619件となっています。個人情報開示等の請求はありませんでした。

個人情報開示等の請求件数	0 件
個人情報開示等請求の決定件数	0 件
不服申立ての件数	0 件

※壬生町個人情報保護条例とは？

個人情報の取扱いに関して、個人の権利利益の侵害を防止し、町の個人情報の保護施策の基本的事項を明確にして、個人の基本的人権を擁護することを目的としています。



「パトロール用」帽子・ベストを配布

六美町北部自治会では、4月17日に行われた総会において、ワンワンパトロール隊連絡協議会が承認され、防犯活動をスタートさせました。そこで、班内をパトロール時に身につける帽子・ベストがあればとの声があり、自治会員430戸分の帽子を作成・配布しました。また、役員・班長用としてベスト40着を作成し、7月2日の全班長会議の席で貸与しました。

役員と班長さんには地区内をパトロール時に、会員さんには買い物や散歩時に着用してもらうよう働きかけを行っており、地区内の安全・安心につながるとして自治会員さんに大変喜ばれています。

「がんばろう!日本 夏まつり in 安塚」 ～宝くじの助成事業で備品を整備～

7月23日、安塚小学校において、安塚地区コミュニティ推進協議会（安生勝英会長）主催による夏まつりが開催されました。今年は、3月11日の大震災を受け「がんばろう!日本」をテーマに、復興支援募金や防災意識向上、節電を考慮した取組みを行い、寄せられた義援金は、社会福祉協議会に寄附しました。

なお、宝くじの一般コミュニティ助成事業により、テント・机・いすをはじめ多くの備品を購入し、このようなイベントで活用しています。



「あの日、双葉町まどか保育園におきたこと」



7月30日、壬生寺保育園（渡邊光喜園長）において、町教育委員会と共催で、福島県双葉町にあるまどか保育園副園長の松本洋子先生を講師に迎え、講演会が行われました。

3月11日、東日本大震災により大きな被害を受けたときの状況や保育園の子どもたちの様子、福島原発の事故により避難場所での生活する中での出来事など、時折涙を浮かべながらお話しされていました。出席者150名は命の大切さ、尊さを改めて思い、この大震災がもたらした被害を決して忘れてはならないと感じました。

地域の話題を見るならこちら！ コミュニティチャンネル デジタル111ch アナログ9ch

◆ 今後の取材予定 ◆ ※ 放送予定を予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 9/26(月) 下都賀地区中学校音楽発表会 | 10/ 6(木) いきいき壬雷クラブ スポーツ大会 |
| 9/27(火) 下都賀地区小学校音楽発表会 | 10/ 8(土) とちぎグリーンフェスタ2011 |
| 9/29(木) 生活習慣病予防教室 | 10/15(土) 第2回わんぱくおもちゃまつり |

[CC9ニュース]で放送します！ 月曜～金曜の毎日18時内容更新

栃木ケーブルテレビ TEL:050-5535-5655





壬生町消防団夏季点検

7月30日、壬生町総合運動場において、壬生町消防団（関本和夫団長・団員203名）による夏季点検が実施されました。

消防関係殉職者に対し黙祷を捧げた後、小菅一弥町長、細井敬一町議会議長、橋本昭三石橋地区消防組合消防長等による全団員の服装点検、続いて、全分団による機械器具点検、ポンプ操法及び放水点検が行われ、有事の際に最善の行動が取れるように万全の体制を整えました。

栃人協おはなしフェスティバル

7月31日、保健福祉センター全館を使用し、「第17回栃人協おはなしフェスティバル」が開催されました。県内13の団体による人形劇・パネルシアター・あやつり人形等のほか、輪投げやじゃんけん大会が催され、約230名の親子連れが楽しみました。

本町からは、プラチナキッズのハンドベル、壬生民話ふくべの会の民話、母親クラブの子ども達によるキッズカフェが参加し、初めての大きなイベントに不安を感じながらも、しっかりと心に残る体験をすることができました。

なお、キッズカフェの収益の中から6,107円を東日本大震災義援金として日本赤十字社へ届けました。



水棲昆虫採取による黒川の水質調査

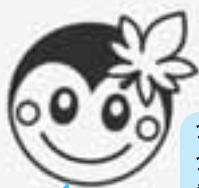
8月5日、しののめ公園上流の黒川河川敷において、「黒川にサケをよびもどす会」（NPO夢くらぶむつみ）と六美町南部育成会、ありんこ、森の子、さくらんぼ保育園の共催で、今年で7回目となる水棲昆虫採取が行われました。

栃木農業高校のひとすぎ先生の指導のもと、子どもたちは黒川の浅瀬で川底の石をひっくり返しながらか昆虫を採取しました。

今回は、カゲロウの幼虫であるトビゲラやとんぼのヤゴなどが採取され、きれいな川になりつつあることがわかりましたが、少し汚れた川に棲むヒラタドロ虫も見られました。

よいそう手つながる心

● ● ● 社会福祉法人 栃の木会 ● ● ●



見学・ご相談など
お気軽にお問合せ
下さい。

介護老人福祉施設 しもつけ荘	☎0282-86-0177	FAX.0282-86-3036
介護老人保健施設 みなと荘	☎0282-86-3710	FAX.0282-86-6322
認知症老人グループホーム うらら	☎0282-86-8600	FAX.0282-86-3036
	〒321-0207 栃木県下都賀郡壬生町大字北小林812	
介護老人福祉施設 いしばし	☎0285-52-1487	FAX.0285-52-1488
	〒329-0502 栃木県下野市下古山1174	
認知症老人グループホーム いしばし	☎0285-53-8866	FAX.0285-53-8585
	〒329-0501 栃木県下野市上古山569-1	





永年在職農業委員表彰

8月8日、宇都宮市とちぎアグリプラザで開催された、
栃木県農業会議「第113回定例総会」において、松井晴夫さんが永年在職農業委員として栃木県農業会議会長表彰を受賞されました。

これは、氏が9年以上農業委員に在職し、そのうち3年以上壬生町農業委員会会長として農業委員会をまとめ、壬生町の農業振興と農村活性化に貢献された功績が認められたものです。

磐裂根裂神社で平成の寺子屋

8月8日から12日までの間、安塚地区磐裂根裂神社において、「神社で寺子屋」と題して、小学生のための夏休み学習会が行われました。「神社で寺子屋」とは、校長先生に高橋鐵夫元学校長、教頭先生に渡邊容子元学校長をお招きし、地元の高校生が先生となって、ボランティアで学習をサポートするものです。

参加した子どもたちは問題集やポスター、お習字などに一生懸命取り組み、お昼の時間になると、お友達や先生方とのおいしい交流を楽しみました。



子育て支援センター☆ひよこ☆ 育メン教室「親子ふれあい体操」

8月27日、保健福祉センターにたくさんのパパ・ママが集合し、エアロビクスインストラクター関口まゆみさんから、子どもと一緒にできるふれあいエクササイズを学びました。

普段忙しくて遊べないパパも、子どもの目の高さに合わせて一緒に柔軟・屈伸・腹筋体操で汗を流し、筋力アップになると喜んでいました。会場ではあちこちに笑いが巻き起こり、ほのぼのとした雰囲気になりました。

育メン教室も回を重ねる毎に、パパ達の子育てへの意欲が高まりママ達も喜んでいました。

墓石・石工事
修理承ります

造園土木
草刈・伐採
スズメバチ駆除



聖地公園、他
完成価格65万円～



お墓ディレクターにご相談下さい
(株) 県南環境 TEL 82-6700

大師町25-5/展示場：小金井駅東

《お任せください》 皆様の暮らしを守ります

- 壬生町水道施設維持管理業務
- 壬生町清掃センター焼却設備運転管理業務
- 農業集落排水処理施設各処理場巡回管理業務

○日本下水道協会賛助会員 ○日本下水道処理施設管理業協会会員 ○東京商工会議所会員

セントラル工業株式会社

昭和49年2月設立 維持管理業全般 35年の実績

本社：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南2-1-8 恵比寿OTビル6階
栃木営業所：〒323-0807 栃木県小山市城東1-1-32-102

〈成績〉

総合の部	グロス	ネット
優勝 <small>谷黒 邦宏</small>	85	63.4
準優勝 <small>中田 英幸</small>	79	64.6
第3位 <small>寺内 光男</small>	92	65.6
男子グロスの部	スコア	
優勝 <small>相田 喜久夫</small>	70	
女子グロスの部	スコア	
優勝 <small>荒川 美恵</small>	108	
シニアグロスの部 (60才以上)	スコア	
優勝 <small>甫坂 利一</small>	76	
グランドシニアグロスの部 (70才以上)	スコア	
優勝 <small>高岩 基治</small>	78	



総合の部優勝
谷黒 邦宏さん

第1回 壬生町民ゴルフ大会

8月2日
栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部
59名参加

※入場には聴講券が必要です。(無料)
なお、当日の入場は先着1,000名様とさせていただきます。

○日時 11月12日(土)
12時30分 開場
13時 開演

○演題 「心豊かに自分らしく生きる」

○講演者 女優 東 ちづる
○会場 壬生中央公民館大ホール
(城址公園ホール)

○聴講券配布開始日
9月22日(木)～

○配布場所
保健福祉センター、中央公民館、
稲葉・南犬飼地区公民館、生涯学
習館、町民生活課及び各出張所

○問合せ先
壬生町保健福祉センター
☎(82)3588(土日、祝日休館)

第27回 「東ちづる」講演会



壬生文化教室へのお誘い

女優の東ちづるが女優業やボランティア活動の体験等を通じて、「心豊かに自分らしく生きる」をテーマに講演します。これは、壬生町自殺対策啓発事業の一環として行われます。

ご家族、お友達などお誘い合わせの上、ご来場くださいますようお願いいたします。なお、同時手話通訳も行います。

教育・文化・スポーツの振興に取り組む 「こんどちは！壬生町教育委員会です！」

第17回

校歌特集「羽生田小学校」

羽生田小学校校歌

作詞・作曲 鈴木 井

一 緑清らか 黒川ほとり
城址の丘に むかしをしるのび
大きな夢を 心にだいて
はげむ 羽生田小学校

二 庭に育った いちようの幹と
山に芽生えた かわいい杉は
雨に負けずに あらしにたえて
太陽あおいで 伸びてゆく

三 三重のおほりは 歴史を語る
若いひとみの 希望の丘に
暑さ寒さに 肩組み合って
きょうも元気に 学ぼうよ

- ◆学校創立 明治6年(1873年)「立道学舎」
※明治16年(1883年)立道学舎羽生田分教場
※昭和24年(1949年)稲葉村立羽生田小学校
※昭和29年(1954年)壬生町立羽生田小学校
- ◆校歌制定 昭和47年(1972年)8月
- ◆作詞・作曲は鈴木井氏。氏は稲葉七ツ石生まれ。元海軍軍人。星について明るく、子どもたちの星空教室や嘉陽が丘プラネタリウム作製にも貢献した。
- ◆校歌制定当時の児童数 112人
- ◆現在の児童数(H23.8.1) 38人



▲旧校舎



▲現在の校舎

- ◆羽生田小の全校合奏の取り組みは、平成6年11月23日、NHK特集「95人の大合奏」として全国放映され大きな話題を呼んだ。



- ▲国会議事堂参議院別館講堂で演奏する子どもたち。(平成8年2月。曲目はワグナー「歌劇タンホイサーより大行進」。)

入居者募集中

※在宅介護でお悩みの方、お気軽にご相談ください※



住み慣れた地域の中で、その人らしい生き方を、いつまでも

介護職員も募集しています



TEL 0282 - 28 - 6118
FAX 0282 - 28 - 6119

高齢者グループホーム **元気**

社会福祉法人敬和会 壬生町壬生甲 2224-1

みんなの広場

わが家のアイドル



あおき ゆい
青木 由依ちゃん (H18.6.10生)
かほ
花帆ちゃん (H20.9.2生)
(上通町)



たむら はやと
田村 颯都ちゃん
(H21.9.28生)
(至宝町南)



さいとう りこ
齋藤 璃子ちゃん
(H21.9.4生)
(六美町北部)



うえだ しゅんや
上田 隼也ちゃん
(H22.9.27生)
(幸町四丁目)

今回は11月生まれのアイドルを募集します。写真は掲載後にお返しいたします。

【締 切】 10月20日

【必要事項】 氏名(ふりがな)、保護者名、生年月日、電話番号

【申込方法】 必要事項を明記の上、役場企画財政課または稲葉・南犬飼出張所まで

【申 込 先】 町総務部企画財政課
情報広報係
〒321-0292 壬生町
通町12-22
Eメールアドレス
info@town.mibu.tochigi.jp



まつかわ けん と
松川 賢斗ちゃん
(H19.9.14生)
(おもちゃのまち)



おおひら しょう た
大平 翔太ちゃん
(H20.9.12生)
(下表町)



さとう い おり
佐藤 衣織ちゃん
(H22.9.18生)
(安塚中央)

歴史民俗資料館だより

第5回 『みぶの文化財コーナー』 『桃花原古墳』(2)

……石室の中は空っぽ……

前回に続き「桃花原古墳」

について、今回は副葬品の謎を紹介します。「桃花原古墳」からは、表面に金が張られた馬の飾り金具や、1mを超える鉄製の刀、数百本の鉄製の矢など、多くの副葬品が出土しています。しかし、これらの多くの副葬品は死者を埋葬する石室ではなく、石室入り口前の川原石で造られた広場(前庭・写真)から出土しています。

このように石室の外から副葬品が出土した古墳としては、下野市の「下石橋愛宕塚古墳」があり、金銅製の轡や鞍の飾り金具など、古代下毛野国を代表する資料が確認さ



れています。

なぜ石室ではなく、石室の外から古墳への副葬品が出土するのでしょう。これは、石室が「横穴式石室」という入口の石を開け閉めする形態になっていて、複数の人を埋葬できる作りであることに理由があります。当時は、石室に新たに死者を埋葬する際には、先に埋葬した人の副葬品を石室の外に出してしまう風習があったようです。このことが幸いして、石室が盗掘にあっても、外に出された副葬品は自然に土に埋もれてしまいがちで、盗掘者たちの目に入らなかったものと考えられます。

とくに「桃花原古墳」は石室の石材まで抜き取られる大規模な盗掘の被害にあっていますが、この風習のおかげで多くの副葬品が保護されました。壬生にある古墳の多くも、盗掘にあり、石室が露出していることがあります。石室の前面には、多くの副葬品が土に埋もれ眠っている可能性が高いと考えられます。

壬生ふるさとまつり

〜みんなに届け！ふるさと壬生から希望のあかり〜

真夏の祭典「壬生ふるさとまつり」が、8月20日、町総合公園陸上競技場において今年も盛大に開催され、あいにくの雨模様にも関わらず、県内外から約2万人もの方々が来場しました。

かんぴょう踊りには、各自治会をはじめ多くの団体が参加し、踊り手のみなさんは櫓を心に幾重もの輪を作りました。

花火打上げでは、たくさんの方々に協賛をいただきまして、多くの花火を打ち上げることができました。プログラムの最後には、震災からの復旧をイメージした力強い花火が打ち上げられました。

また、まつりの翌日には、今年も一般の方々にご協力をいただき、会場及び会場周辺のごみ拾いを行いました。



ダイドードリンコさん トイレットペーパーを寄附

8月8日、(株)ダイドードリンコサービス栃木(代表取締役杉山憲一氏)様から、町内の公立保育園にトイレットペーパーを寄附していただきました。このトイレットペーパーは、缶コーヒーなどが入っていたダンボールをリサイクル業者に出していただいたものだそうです。園児たちは、リサイクルの大切さを学び、「資源を大切に」する心を育むことができました。



表紙の写真
ふるさとまつりのラストを飾った打ち上げ花火。復興への願いを込めた色とりどりの花火が、壬生の夜空に希望のあかりを灯しました。

10月の納税等	● 町民税	(3期)
	● 国民健康保険税	(4期)
	● 介護保険料	(4期)
	● 後期高齢者医療保険料	(4期)
納期限	10月31日	



絵画「季節を感じて」



壬生東小5年
小林 一葉



壬生東小6年
黒川 瑞姫



作品「12才の力で」

